

薬学部 4 年生を対象とした手指消毒剤及び衛生的手洗いの評価

○荘智翔、羽田和弘、尾関佳代子、脇屋義文

愛知学院大学薬学部実践薬学講座

【概要】

2023 年 3 月 26-27 日、北海道大学で開催された「日本薬学会第 143 会」に参加し、以下の研究内容をポスター発表した。

【目的】

昨今、新型コロナウイルス感染症は衰えることなく蔓延し、様々な変異株の出現が見られ、医療現場や集団でのイベントなどにおいて感染予防策の徹底が強く求められている。愛知学院大学薬学生についても感染予防の為、日頃から手指消毒及び手洗いを励行し、実習にて手指消毒及び衛生的手洗いについて学習している。本研究では、本学薬学生が日頃どれだけ手指消毒及び手洗いについて理解し、実施できているかを蛍光ローションを用い、手に擦り込んだ場合を手指消毒として、手洗い後に蛍光ローションを洗い流せていない部分を手洗い出来ていないと考え、調査した。(倫理委員会承認番号:117)

【方法】

2022 年 4 月 11 日～5 月 24 日に、愛知学院大学薬学部にて実務実習事前演習 II を受講する学生 125 名に研究の説明文章を用いて十分な説明を行い、同意の得られた学生 118 名より、日頃行う手指消毒や手洗いに関するアンケートを取得した。市販の蛍光専用ローションを手に擦り込んだ後、及び洗い場にて手洗いを行った後に遮光可能な

箱の中でブラックライト蛍光灯を当て、掌と甲の写真を取得した。解析には ImageJ を用い、蛍光箇所の数値化を行った。

【結果と考察】

アンケート結果より、学生自身が手の全体面積あたり何%くらい手指消毒出来ているかという問いに対し、約 60%であった。実際に解析した結果、手指消毒できていたのは全体面積の約 60%程度とアンケート結果とほぼ同じ結果であった。また、学生自身が手の全体面積あたり何%くらい手洗い出来ているかという問いに対し、約 60%であった。実際に解析した結果、実際に手洗いできていたのは全体面積の 0～20%とアンケート結果と比べ低い値となった。また、アンケート結果では爪や指の間が特に手指消毒および手洗いできていないという結果であった。手の部位を詳細に解析した結果、手指消毒できていない部位は掌では指の間、MP 関節線、爪の順、甲では指の間、爪、拇指球部、小指球部の順に手指消毒できていなかった。さらに、手洗いの出来ていない部位は掌では拇指球部、MP 関節線、指の間、IP 関節線、爪の順、甲では拇指球部、指の間、爪の順に手洗いできていなかったことから、実際とは乖離していた。これらのことから、本学学生の手洗いは不十分であり、医療人を養成する薬学部として、手指消毒及び手洗いについて指導を強化していく必要があると考える。

【感想】

薬学会に参加し、様々な意見をいただき、改めて自分の研究について見直すことが出来ました。

また、様々な研究発表を聞き、類似している研究でも異なった考えがあることや、自分から質問を行ったことで視野が広がりました。

今回の学会を通して学び得たことを卒業研究発表に繋げたいと思います。

